

「亀岡市交通環境学習の取り組みについて」

亀岡市 政策推進室政策推進課

亀岡市では平成23年度から京都府や事業者に協力をいただき、小学校に出向いて交通環境学習に取り組んでいます。

昨年度は3校で実施。通学時に児童の半数以上がバスを利用する学校、市内で最もバス利用が多い住宅地にある学校、近くに工業団地や物流センターがある学校など、それぞれの交通環境とリンクした内容となるように心掛けています。

バスを身近に感じている2校については『地域を走るバスを知ろう!』をテーマに、バス会社に協力を得てバスを持ち込み、直接、見て触れて地域を支えるバス交通について考えました。また、宅配事業者の協力が得られた1校では、ハイブリット車や電気自動車など実際に働く車を見学。ディーゼル車と天然ガス車の排ガス実験を通じて環境に配慮した交通の大切さを学びました。

この取り組みでは子どもたちだけではなく家族で話し合ってもらうことも大切であると考えています。取り組み後の親子を対象としてアンケートからは「バスにはたくさんの工夫がある」「環境を考えている」「お年寄りに席を譲った」など、子どもたちが得意げに家族に話す様子が伝わってきます。実際、約9割の保護者がこの取り組みについて「良かった」、約7割が「今後バスや電車を利用したい」と回答しています。子どもたちの学習を通じて、家族で考えるきっかけとなっているようです。

今年度も3校で交通環境学習を計画。学校、事業者ともに「前回よりも良いものを」と協力いただいています。交通は地域と自分達をつなぐ身近な資源であり、より多くの学校で実施できるように学校・事業者・行政が連携を図り取り組んでいきたいと考えています。